

平戸小 学校だより 6月号

平戸

令和4年5月31日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町542番地
TEL 045-821-2329
FAX 045-826-2005



学校 HP、校長室だよりが更新されています。ぜひご覧ください



新しいスタート 平戸小にも国際教室

副校長 平島 幸江

職員玄関近くの花壇で、アジサイの花が赤紫色や青紫色にふんわりと色づいてきました。学校近くの緑地では、メジロやウグイスなどが歌声を競い合うように鳴いています。朝一番の校庭でしばしマスクを外して深呼吸。気持ちよい朝の校内巡回の時間をすごしています。

昨年度は平戸小学校 50 周年記念事業の実施にあたり、保護者や地域の皆様に多大なるご支援ご協力をいただきました。おかげさまでコロナ禍であっても、年間を通して充実した学習活動を展開することができ、各学年児童が平戸の地域のよさや伝統にふれる学習を進め、学びを深めることができました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。この令和4年度は、50 年間の平戸小の伝統を大切にしながら、51 年目の新しいスタートです。さらにまちとつながりまちのよさに学ぶ教育活動が展開できるよう取り組んでいきます。

さて、この令和4年度の新しいスタートのひとつとして、平戸小学校に新しく国際教室が設置されました。教育委員会は、令和4年度の重点施策の中でも、多様なニーズに対応した教育の推進の項目の中で日本語指導が必要な児童生徒への支援を筆頭の項目にあげ、「日本語指導が必要な児童生徒が一定数以上在籍する学校に担当教員を配置し、日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う・・・」としています。本校でも、その一定数を超える児童が在籍することとなり国際教室が設置されることになりました。実際、外国籍児童、外国につながる児童、海外で長期に生活していた児童を合わせると、今年度は全児童数の5%ほどの児童が支援の対象となり児童です。児童数としては、各学級に2～3名くらいいる計算になります。現在は、担当の西島教諭を中心に、児童の把握やカリキュラムの作成、教室環境づくりを行っています。今後は対象となる児童一人ひとりの保護者と連絡等を行い、具体的な支援方法を担当教員中心に学校全体で考えていきます。



今後はコロナ禍でストップしていた状況が変化する中で、海外から帰国、転入してくる児童が徐々に増えてくることが予想されます。きっと平戸のまちも同様ではないかと思えます。この緑豊かなあたたかい平戸のまちで育つ児童一人ひとりが安心して学校生活をおくることができるように、また豊かな未来を目指すことができるように、この国際教室の教室運営を大切に丁寧に行っていこうと考えています。